

令和 4 年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	大峽武
	全体計画						経費区分		経常的経費		内線	3425
事務事業名	4182 金融対策事業											
所 属	150300 産業振興部・商業観光課											
施 策	06023200 商業の活性化											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	070102 商工費・商工費・商工業振興費										
	事業	020000 金融対策事業										
事業目的						事業概要・効果						
中小企業者に対し、経営上必要とする資金の融資あっせん、金融保証料及び利子補給を行うことにより、中小企業の振興を図る。						新型コロナウイルス感染症により経営に影響を受けた事業者をはじめ、中小・小規模企業者の皆様の資金繰りを支援するため、継続して金融保証料及び利子補給を行う。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
制度資金 融資あっせん（市:件数130件、融資金額1,451,057千円、県:件数18件、融資金額623,600千円）、 利子及び保証料補給金（市:件数214件、融資金額72,466千円、県:件数18件、融資金額11,320千円）	制度資金 融資あっせん（市:件数106件、融資金額335,140千円、県:件数28件、融資金額214,100千円）、 利子及び保証料補給金（市:件数103件、融資金額11,123千円、県:件数28件、融資金額4,210千円）
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
市・県制度資金の融資あっせん及び利子及び保証料補給	市・県制度資金の融資あっせん及び利子及び保証料補給
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
市・県制度資金の融資あっせん及び利子及び保証料補給	市・県制度資金の融資あっせん及び利子及び保証料補給

指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		1,018,098	1,043,160
特定財源	国庫支出金	12,771	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	1,000,000	1,000,000
一般財源		5,327	43,160
人員数(人)	正規職員	0.9	0.9
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.2	0.2
人員コスト	正規職員	6,399.9	6,399.9
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	308.2	308.2
	計	6,708.1	6,708.1
市民一人当たりの経費		19.6	20.1
総額		1,024,806.1	1,049,868.1

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	15,333	金融保証料及び利子補給金15,333
その他	1,002,765	預託金1,000,000 会計年度任用職員報酬・手当2,254 会計年度任用職員社会保険料380 郵便料131

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	88	消耗品費88
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	40,000	金融保証料及び利子補給金40,000
その他	1,003,072	預託金1,000,000 会計年度任用職員報酬・手当2,403 会計年度任用職員社会保険料417 旅費120 郵便料132

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	新型コロナウイルス感染症より経営に影響を受けた事業者をはじめ、中・小規模企業者の資金繰りを支援するため、継続して金融保証料及び利子補給を行う。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	経済動向を注視しながら、国や県の財源・制度を活用し必要となる事業者に必要な支援を行う。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	預託金の貸付先の金融機関など関係機関と連携し、事業者には制度の周知など広く行う。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

前年度よりも融資金額・申請件数が大幅に減っているが、今後も新型コロナウイルス感染症や物価高騰等による影響で、資金繰りに困られている中小事業者のため継続的な支援を行う。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
地域経済の発展はもとより、新型コロナウイルス感染症や物価高騰等の影響を受けている中小企業者への資金繰りに対する支援は必要不可欠であり、経営基盤を安定させるためにも本事業は有効な施策の一つである。		中小企業者が安定して経営を行うための支援策として、重要であり必要不可欠な施策である。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 4年度 行政評価事業別シート

	実計対象 ■	評価対象 ■	新規 □	完了事業 □	ゼロ予算事業 □	担当者	大峽武
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3425
事務事業名	4183 商業振興事業						
所 属	150300 産業振興部・商業観光課						
施 策	06023200 商業の活性化						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	070102 商工費・商工費・商工業振興費					
	事業	030000 商業振興事業					
事業目的				事業概要・効果			
事業者及び商業団体等の実施事業支援、商業の現状把握及び課題対応により、商業の振興を図る。 サービス産業振興につながる事業者・団体の活動に対し、関係機関との連携を図り、起業支援や活動支援を通じて商業の振興を図る。				新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ須崎市経済の活性化を図るため、売上が減少した事業者の支援を行うとともに、消費の喚起を促す。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
中心市街地活性化事業補助 687千円 街路灯設置及びLED化事業補助 224千円 街路灯電気料補助事業 370千円 わざわざ店等開設支援事業 6,618千円 商業団体等が行う事業等に対する補助 6,500千円	中心市街地活性化事業補助 2,503千円 街路灯設置及びLED化事業補助 122千円 街路灯電気料補助事業 400千円 わざわざ店等開設支援事業 3,916千円 商業団体等が行う事業等に対する補助 6,500千円
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
中心市街地活性化事業委託料 7,878千円 街路灯設置及びLED化事業補助 700千円 街路灯電気料補助事業 450千円 わざわざ店等開設支援事業 6,500千円 商業団体等が行う事業等に対する補助 6,500千円	中心市街地活性化事業補助 街路灯設置及びLED化事業補助 街路灯電気料補助事業 わざわざ店等開設支援事業 商業団体等が行う事業等に対する補助
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
中心市街地活性化事業補助 街路灯設置及びLED化事業補助 街路灯電気料補助事業 わざわざ店等開設支援事業 商業団体等が行う事業等に対する補助	中心市街地活性化事業補助 街路灯設置及びLED化事業補助 街路灯電気料補助事業 わざわざ店等開設支援事業 商業団体等が行う事業等に対する補助

指標名	新規開設店舗累計数				
算式	前年度までの新規開設店舗累計数に当該年度新規開設店舗数を加えた数				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標	11	18	24	31
	実績	11			
指標選定の理由	新規出店によるにぎわい創出				
最終年度目標の根拠	新規出店数				
指標名					
算式					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		175,015	191,652
特定財源	国庫支出金	155,777	162,000
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	5,452	5,020
一般財源		13,786	24,632
人員数(人)	正規職員	1.8	1.6
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	2.1	2.2
人員コスト	正規職員	12,799.8	11,377.6
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	3,236.1	3,390.2
	計	16,035.9	14,767.8
市民一人当たりの経費		3.7	3.9
総額		191,050.9	206,419.8

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	3,836	消耗品262、燃料費83、印刷製本費3,122、光熱水費173、修繕料196
12節 委託費	2,000	テイクアウト・デリバリー応援事業2,000
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	164,408	お店限定応援商品券事業補助金148,465、商業団体強化育成事業補助金6,500、わざわざ店補助3,916、中心市街地活性化補助金2,503、その他3,024
その他	4,771	会計年度任用職員報酬2,373、社会保険料393、郵便料847、電話料99、広告料528、機器賃借料332、借上料93、旅費106

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	5,973	消耗品270、光熱水費132、燃料費71、印刷製本費3,300、修繕料2,200
12節 委託費	7,968	中心市街地活性化事業（地方創生推進交付金）7,878、専門家派遣90
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	171,273	補助金169,050、地域おこし協力隊活動費負担金2,000、まちの駅負担金150、その他73
その他	6,438	会計年度任用職員報酬3,760、期末手当740、社保料600、旅費270、使用料及び賃借料501、役務費560、公課費7

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	コロナの影響で落ち込んだ経済対策として、お店限定応援商品券事業を実施した。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	商品券、わざわざ店補助、商業団体強化育成補助、中心市街地活性化事業補助など、ニーズに沿った支援を行なう。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	国庫補助など活用する。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

地域おこし協力隊制度を活用し、空き店舗の情報収集及び情報提供を行うとともに、わざわざ店補助により空き店舗の解消、賑わい創出が図れた。コロナの影響等で経営が苦しい事業者に対し、国の財源や制度を活用し経営支援を行う。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
新型コロナウイルス感染症等の影響により消費が落ち込んだ個々の商店に活気を取り戻し、ひいては市街地全体の活性化について商業者自らが考え、取り組むためにも必要な支援であり、有効な施策である。		新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ須坂市経済の活性化を図るため、事業者支援及び消費喚起を促す必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 4 年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	荒井
	全体計画						経費区分		-		内線	3425
事務事業名	4185 観光施設管理事業											
所 属	150300 産業振興部・商業観光課											
施 策	06023300 地域資源を活かした観光の振興											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	070103 商工費・商工費・観光費										
	事業	010000 観光施設管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
観光客の皆様が、安全で快適に楽しんでいただけるよう、適切に施設の維持管理を行う。						米子大瀑布、五味池破風高原、峰の原高原等を中心とした観光地や、ふれあい健康センター(湯っ蔵んど)等観光施設の維持管理に係る事業を行う						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
須坂市ふれあい健康センター（湯っ蔵んど）保守点検委託、手数料、備品購入費及び機器賃借料、修繕費23,660千円 その他観光施設4,059千円 指定管理業務委託（4施設）	須坂市ふれあい健康センター（湯っ蔵んど）保守点検委託、手数料、備品購入費及び機器賃借料、修繕費 その他観光施設 指定管理業務委託（4施設）
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
須坂市ふれあい健康センター（湯っ蔵んど）保守点検委託、手数料、備品購入費及び機器賃借料、修繕費 その他観光施設 指定管理業務委託（4施設）	須坂市ふれあい健康センター（湯っ蔵んど）保守点検委託、手数料、備品購入費及び機器賃借料、修繕費 その他観光施設 指定管理業務委託（4施設）
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
須坂市ふれあい健康センター（湯っ蔵んど）保守点検委託、手数料、備品購入費及び機器賃借料、修繕費 その他観光施設 指定管理業務委託（4施設）	須坂市ふれあい健康センター（湯っ蔵んど）保守点検委託、手数料、備品購入費及び機器賃借料、修繕費 その他観光施設 指定管理業務委託（4施設）

指標名	観光施設入館者数				
算式	湯っ蔵んど入館者数/年間				単位 人
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	未定	未定	未定	280,000
	実績	199,155			
指標選定の理由	施設管理事業にて維持管理を行っている施設であるため。				
最終年度目標の根拠	近年は近隣に類似施設が多くある中、入館者数は遞減傾向にあるため2019年度（令和元年度）278,971人の入館者数を維持する				
指標名	観光地利用者数				
算式	観光地利用者統計調査による				単位 人
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	550,000	650,000	700,000	800,000
	実績	621,600			
指標選定の理由	観光地利用者統計調査による数値のため				
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		66,088	69,026
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	61	8,001
一般財源		66,027	61,025
人員数(人)	正規職員	1.3	1.3
	会計年度(フル)	0.3	0.3
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	9,244.3	9,244.3
	会計年度(フル)	988.5	988.5
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	10,232.8	10,232.8
市民一人当たりの経費		1.5	1.5
総額		76,320.8	79,258.8

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	13,658	修繕費13,325 ほか333
12節 委託費	20,050	指定管理者委託料15,481 ほか4,569
14節 工事請負費	481	五味池工事 481
18節 負担金補助及び交付金	20,642	市民無料入浴負担金7,399 ほか13,243
その他	11,257	報酬1,956、給料2,497、職員手当等820、共済費970、役務費1,564、使用料及び賃借料986、備品購入費2,464

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	5	謝礼5
10節 需用費	32,004	消耗品費293、光熱水費354、修繕費31,357
12節 委託費	22,631	施設管理委託料1,090、保守委託4,290、指定管理者委託料15,481 ほか1,770
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	8,849	市民無料入浴負担金8,800 ほか49
その他	5,537	報酬1,996、職員手当等407、共済費383、役務費1,765、使用料及び賃借料986

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	●施設維持に必要な修繕等を実施した。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	●湯っ蔵などは市民の福祉施設として、市民生活に貢献している	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	●今後も効率性を考慮し、維持修繕に努める。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
●利用者が快適に利用できるよう観光施設の維持管理に努め、適正に管理できた。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

観光施設の維持管理を適切に行うことで安全性の確保やサービスの向上を図り、来訪客の満足度を高めるためにも必要な施策である。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

観光施設の適切な維持管理は、来訪客の安全確保やサービスの向上に繋がる施策である。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 4 年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input checked="" type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	荒井
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3425
事務事業名	4186 観光・誘客宣伝事業						
所 属	150300 産業振興部・商業観光課						
施 策	06023300 地域資源を活かした観光の振興						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	070103 商工費・商工費・観光費					
	事業	020000 観光・誘客宣伝事業					
事業目的				事業概要・効果			
観光宣伝及びイベント等の開催により観光誘客を図る				コロナ禍の状況ではあるが、観光パンフレットの作成や観光情報の提供、観光案内誘客業務委託（須崎市観光協会）や観光PR業務委託等により、観光誘客を図る。 。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
観光パンフレットの作成、観光情報の提供 観光案内誘客業務委託(21,600千円)や観光PR業務委託(8,000千円)等による観光誘客	観光パンフレットの作成、観光情報の提供 イベントの実施 観光案内誘客業務委託(21,600千円)や観光PR業務委託(8,000千円)等による観光誘客
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
観光パンフレットの作成、観光情報の提供 イベントの実施 観光案内誘客業務委託や観光PR業務委託等による観光誘客	観光パンフレットの作成、観光情報の提供 イベントの実施 観光案内誘客業務委託や観光PR業務委託等による観光誘客
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
観光パンフレットの作成、観光情報の提供 イベントの実施 観光案内誘客業務委託や観光PR業務委託等による観光誘客	観光パンフレットの作成、観光情報の提供 イベントの実施 観光案内誘客業務委託や観光PR業務委託等による観光誘客

指標名	シルキー観光案内所への観光客数				
算式	シルキー観光案内所での観光客利用者数				単位 人
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	2,000	2,000	2,500	3,000
	実績	5,661			
指標選定の理由	観光案内所へ訪れる観光客数により、戦略的なPRの効果が計れる				
最終年度目標の根拠	大型イベント等の実施の有無により利用者数が増減するが、コロナ禍の状況もあり2019年度（平成元年度）の実績値（2,979人）を維持する				
指標名	観光地利用者数				
算式	観光地利用者統計調査による				単位 人
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	550,000	650,000	700,000	800,000
	実績	621,600			
指標選定の理由	観光地利用者統計調査による数値のため				
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		67,750	84,908
特定財源	国庫支出金	0	37,240
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	33,335	1,000
一般財源		34,415	46,668
人員数(人)	正規職員	1.7	1.7
	会計年度(フル)	0.5	0.5
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	12,088.7	12,088.7
	会計年度(フル)	1,647.5	1,647.5
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	13,736.2	13,736.2
市民一人当たりの経費		1.6	1.9
総額		81,486.2	98,644.2

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	809	印刷製本費720 ほか89
12節 委託費	29,600	観光案内誘客業務21,600、観光PR業務委託8,000
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	35,720	恋人の聖地負担金5,000、峰の原高原観光協会負担金6,000 ほか24,720
その他	1,621	その他1,621

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	2,764	消耗品470、印刷製本2,080 ほか214
12節 委託費	55,710	観光案内誘客業務47,600、観光PR業務委託8,000 ほか110
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	24,390	恋人の聖地負担金10,000、峰の原高原観光協会負担金4,000 ほか10,390
その他	2,044	その他2,044

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	●市独自の観光資源を活かし、誘客に積極的に取り組むことで観光産業の推進を図る。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	●観光協会が実施したスイーツスタンプラリーやすざかしガチャは店舗に直接お金が落ちるため、目に見えた効果が上がっている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	●事業実施にあたり、費用対効果で考え、効率性を考慮しながら誘客施策を検証する。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

- R2年度に引き続き、コロナ禍ではあったが、須坂市観光協会と連携し、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた観光誘客に向けた取り組みができた。
- パンフレットの作成、観光情報の提供を実施した。
- 観光PR業務委託では須坂市を紹介する映像制作に取り組んだ。作成した映像は様々な場面（旅行会社との商談会、イベント出展、出前講座など）で活用を図ることができる。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

長野県の強みである自然や山岳観光、更にはブランド力のある果物や味噌等の地域資源を活かしながら関係機関とも連携し、知名度向上とコロナ終息後を見据えて来訪客の確保を図るうえでも有効な施策である。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

アフターコロナを見据え、地域資源を活かした知名度の向上を図っていく有効な施策である。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 4年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	荒井
	全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3425
事務事業名	4187 観光施設整備事業											
所 属	150300 産業振興部・商業観光課											
施 策	06023300 地域資源を活かした観光の振興											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	070103 商工費・商工費・観光費										
	事業	030000 観光施設整備事業										
事業目的						事業概要・効果						
観光地における観光案内板や案内標識の整備による観光客の誘導、回遊を促進し観光客の皆さまが安全で快適に楽しんでいただけるようにするとともに観光基盤整備を行う。						魅力ある観光地づくりと観光振興、来訪者の安全確保のため、峰の原地区観光レクリエーション施設等整備事業補助金や登山道等の修繕を行う。 【ヒア補足】 ●林道の復旧は現時点で具体的スケジュールは未確定。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
米子大瀑布遊歩道測量設計業務ほか792千円 米子大瀑布登山道権現沢橋修繕ほか3,361千円 前山つつじ公園案内看板設置工事490千円 指定避難所（須坂温泉古城荘）耐震補強等工事負担金137,980千円	峰の原地区観光レクリエーション施設等整備事業補助金（ふるさと寄附金）30,000千円 峰の原地区観光レクリエーション施設等整備事業補助金（辺地債）166,474千円 米子大瀑布整備工事7,300千円ほか
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
峰の原地区観光レクリエーション施設等整備事業補助金（辺地債） 米子大瀑布整備工事ほか	峰の原地区観光レクリエーション施設等整備事業補助金（辺地債） 米子大瀑布整備工事ほか
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	山間部での遊歩道の整備不足による事故件数						
算式	米子遊歩道整備不足による事故件数					単位	件
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	0	0	0	0	0	
	実績	0	0	0	0	0	
指標選定の理由	遊歩道整備不足による事故を防ぐ。						
最終年度 目標の根拠	遊歩道整備不足による事故を防ぐ。						
指標名	観光地利用者数						
算式	観光地利用者統計調査による数値					単位	人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	550,000	650,000	700,000	750,000	800,000	
	実績	621,600					
指標選定の理由	観光地利用者統計調査による数値のため						
最終年度 目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		148,692	194,211
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	147,900	181,000
	その他	2,336	8,152
一般財源	△1,544	5,059	
人員数 (人)	正規職員	0.7	0.7
	会計年度(フル)	0.2	0.2
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	4,977.7	4,977.7
	会計年度(フル)	659.0	659.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	5,636.7	5,636.7
市民一人当たりの経費	3.0	3.8	
総額	154,328.7	199,847.7	

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	792	観光案内看板設置工事 792
18節 負担金補助及び交付金	147,900	須坂市峰の原地区観光レクリエーション施設等整備事業補助金 147,900
その他	0	

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	500	米子大瀑布登山道等災害復旧測量設計委託料 500
14節 工事請負費	12,711	観光案内看板設置工事800、米子大瀑布整備工事11,911
18節 負担金補助及び交付金	181,000	須坂市峰の原地区観光レクリエーション施設等整備事業補助金181,000
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	●観光客の皆さんが快適に観光施設を利用できるよう整備する必要がある。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	●スキー場に降雪機を導入することで安定的に雪を確保でき、施設利用者の利便性向上に資することができた。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	●後年度負担等を考慮しながら、施設整備を実施する。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

●辺地債を活用し、峰の原スキー場の施設整備を実施することができた。ハード面の整備だけでなく、ソフト面の充実も図ることで多くの方がスキー場を利用するように工夫が必要。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
観光施設の安全対策と利便性の向上を図り、来訪客が快適に過ごしていただくためにも必要な施策である。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
観光施設における安心安全と利便性の向上を図るうえで有効な施策である。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 4年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	大峽武
	全体計画			経費区分	-	内線	3425
事務事業名	4189 シルキーホール管理事業						
所 属	150300 産業振興部・商業観光課						
施 策	06023300 地域資源を活かした観光の振興						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	070104 商工費・商工費・シルキーホール費					
	事業	010000 シルキーホール管理事業					
事業目的				事業概要・効果			
市民文化の向上を図り、ふれあいの場を提供するため、多目的集会施設として広く市民に開放し、利用の推進に努める。				多目的集会施設として広く市民に開放し、諸会議・各種研修会・サークル活動等の研鑽の場として利用された。 市民プラザを須坂市観光協会に委託し、観光案内拠点や来訪者の休憩場所として活用している。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
コロナの影響で、ホールの利用者数、市民プラザの入館者数は大幅に減少した。	コロナ禍の影響で、県の警戒レベルが上がっても施設の利用は中止とせず、感染対策を取りながら開放した。
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
シルキーホールは、多目的集会施設として広く市民に開放する。市民プラザは、須坂駅前の玄関口として、観光情報をはじめ、様々な情報提供のばとして活用する。	シルキーホールは、多目的集会施設として広く市民に開放する。市民プラザは、須坂駅前の玄関口として、観光情報をはじめ、様々な情報提供のばとして活用する。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
シルキーホールは、多目的集会施設として広く市民に開放する。市民プラザは、須坂駅前の玄関口として、観光情報をはじめ、様々な情報提供のばとして活用する。	シルキーホールは、多目的集会施設として広く市民に開放する。市民プラザは、須坂駅前の玄関口として、観光情報をはじめ、様々な情報提供のばとして活用する。

指標名	シルキーホール利用者					
算式	第1、第2ホール利用者				単位	人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標	12,614	12,614	12,614	12,614	
	実績	12,614				
指標選定の理由	利用状況が的確に把握できるため					
最終年度目標の根拠	コロナ禍であるが、施設の利用を維持する。					
指標名						
算式					単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式					単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決算	令和4年度 予算
事業費		8,894	8,932
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	96	90
一般財源		8,798	8,842
人員数(人)	正規職員	0.2	0.2
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.1	0.1
人員コスト	正規職員	1,422.2	1,422.2
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	154.1	154.1
	計	1,576.3	1,576.3
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		10,470.3	10,508.3

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,747	電気料1,577、修繕料170
12節 委託費	5,118	指定管理委託料4,893、空調保守点検225
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,860	共用管理費負担金ほか1,860
その他	169	電話料39、使用料賃借料130

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,600	電気料1,500、修繕料100
12節 委託費	5,118	指定管理者委託料4,893、空調保守点検225
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	2,000	共用管理費負担金ほか2,000
その他	214	電話料45、使用料賃借料169

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	多目的集会施設として、広く市民に開放し、諸会議・サークル活動等の研鑽の場として利用。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	中心市街地（須坂駅前）立地ということで、賑わい創出の場として有効である。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや悪化
評価コメント	昭和61年建設で修繕箇所が増えている。コロナの影響等で利用者も減少傾向にある。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
利用者ニーズに沿い、利用率向上に努める。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
施設の維持管理を適切に行うことで利便性の向上を図り、利用者が快適に使用していただくためにも必要な施策である。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
指定管理者制度により、施設の適正な管理運営を継続する。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 4年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	宮川
	全体計画			経費区分	-	内線	3007
事務事業名	4043 国際交流等事業						
所 属	050200 総務部・政策推進課						
施 策	06023400 特色を生かした地域振興の推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	020109 総務費・総務管理費・企画費					
	事業	040000 国際交流等事業					
事業目的				事業概要・効果			
国際化の進展に伴い、友好都市との交流を深め、国際化に対応した人づくりを推進する。				平成6年度の中国吉林省四平市との国際友好都市の締結から21年経過し、親善交流事業として行っている友好訪問などは両市の友好と交流に寄与している。 また、様々な機会を通じ、国際交流の進展を図る。 平成28年度は長野県及び須坂市日中友好協会創立60周年という節目の年を迎え、それぞれ記念式典を実施したほか、2020東京オリパラホストタウンに県との共同参加を表明したことで、オリパラを通じ友好都市のみならず、中国全域との交流に発展することが期待される。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
須坂市日中友好協会定期総会並びに長野県日中友好都市交流会議への参加	須坂市日中友好協会定期総会並びに長野県日中友好都市交流会議への参加
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
須坂市日中友好協会定期総会並びに長野県日中友好都市交流会議への参加	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		30	1,487
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		30	1,487
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	会計年度(フル)	0.1	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	711.1	711.1
	会計年度(フル)	329.5	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	1,040.6	711.1
市民一人当たりの経費		0.0	0.0
総額		1,070.6	2,198.1

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	30	ホストタウン長野県実行委員会負担金30
その他	0	

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	180	通訳等謝礼100、記念品代80
10節 需用費	310	消耗品10、食糧費300
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	997	旅費997

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	須坂市と友好都市締結がされている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	各種事業を行い事業の目的を達成することができた。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	最低限の費用で行っている。友好都市締結における申し送り事項として相互受入を可能とする最低限の費用を予算計上しているもの。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

ホストタウンとして自主事業を行ったほか、中核事業に協力するなど役割を果たすことができた。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

多文化共生社会では、それぞれの文化や生活習慣などを正しく理解し深めていくことは必要。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

異国の文化に触れることは、多文化共生社会の中、多様性を認めることにも繋がる。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 4年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	松下
	全体計画	令和 4年度 ~			経費区分	実施計画事業費		内線	3940			
事務事業名	16294 信州須坂ふるさと応援寄附金事業											
所 属	050200 総務部・政策推進課											
施 策	06023400 特色を生かした地域振興の推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	020109 総務費・総務管理費・企画費										
	事業	050000 信州須坂ふるさと応援寄附金事業										
事業目的						事業概要・効果						
<ul style="list-style-type: none"> ●信州須坂ふるさと応援寄附金の募集等を通じ、市の特色である果物をはじめ、各種地場産品のPRを行い、産業振興や地域振興につなげる。 ●返礼品への同梱物やSNSを活用し、市のPRも効果的に行い、関係人口の創出につなげる。 						<ul style="list-style-type: none"> ●寄附者への返礼品送付を通じて、市の特産品や市に対するファンを作るとともに、関係人口創出につなげる。 ●寄附者が希望する用途に従い、寄附金をふるさとづくりに役立てる。 ●総務省が定めるルールを基本とした上で、市の財源確保に向け、寄附者への効果的な訴求ができるよう事業内容を工夫しながら、市のPRも含め効果的な事業運営を行う。 						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
寄附額1,470,702,000円（寄附件数：108,607件） 寄附額は県内3位、寄附件数については県内1位の寄附受入実績となった。	寄附額2,371,412,005円（寄附件数：179,607件）
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
寄附額1,200,000,000円	寄附額1,200,000,000円
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
寄附額1,200,000,000円	寄附額1,200,000,000円

指標名	信州須坂ふるさと応援寄附金の返礼品提供事業者数				
算式	ふるさと納税返礼品について提供実績（1件以上）のあった事業者数を計測				単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績	90			
指標選定の理由	寄附金増額のためには返礼品ラインナップの充実が欠かせない。また、多種多様な返礼品があることで市の認知度アップにつながる。				
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		2,726,743	2,006,607
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	2,726,743	2,006,607
一般財源		0	0
人員数(人)	正規職員	1.4	2.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	1.6	1.7
人員コスト	正規職員	9,955.4	14,222.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	2,465.6	2,619.7
	計	12,421.0	16,841.7
市民一人当たりの経費		52.4	38.7
総額		2,739,164.0	2,023,448.7

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	639,780	返礼品の調達に係る費用 639,780
10節 需用費	0	
12節 委託費	2,820	ふるさと納税専用受付サイト構築委託料 2,171 ふるさと納税管理システム保守委託料 649
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,084,143	通信運搬費5,441、手数料566,708、基金積立金1,509,733、人件費2,261

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	498,149	寄附者謝礼 498,149
10節 需用費	0	
12節 委託費	847	ふるさと納税管理システム保守委託料 847
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	1,507,611	通信運搬費3,257、手数料402,160、基金積立金1,096,582、人件費5,612

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	ふるさと納税の制度に従い実施	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	年々寄附額が増加しており成果が出ている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	経費率が減少（53.4%→48.2%）しており、効率性の向上が図られた。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

寄附額の増加に伴い、ワンストップ特例申請受付などの事務量が増加し、職員の負担が大きい。
上記事務の委託により事務の軽減を図っていく。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント	
ふるさと応援寄附金を通じ果物をはじめ、各種地場産品のPRを行い、産業振興や地域振興につなげ関係人口の創出には期待大。職員に負担が大きい部分、経費削減には改善が必要。	

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
2次評価コメント	
寄附金を通じて、須坂市を応援してくださる方が年々増えており、須坂市の関係人口を増やすためにも重要な事業である。手数料等必要経費の削減と、効果的な事業運営が課題である。	

外部評価

次年度以降の方向性
外部評価コメント

令和 4年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	小林、岡田
	全体計画			経費区分	-	内線	3137、3139
事務事業名	4044 地域活性化事業						
所 属	050200 総務部・政策推進課						
施 策	06023400 特色を生かした地域振興の推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	020114 総務費・総務管理費・地域振興費					
	事業	010000 地域活性化事業					
事業目的				事業概要・効果			
地域づくりの理念に基づき、市民との共創で須坂市にしかない地域資源を全国に発信する事業を企画実施し、須坂ブランドを確立し育て、交流人口を増やすとともに市民の誇りや地元愛を醸成する。				文字や写真だけでは伝えることができない動画の特性を活かし、Goolightと連携した編集動画を、新たにLINEを加えたSNSを活用し配信する。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
「結婚支援事業」の委託等により、地域活性化を図る。市内の団体や各町の活動等を番組やSNS等で紹介した。	市内の団体や各町の活動等を番組やSNS等で紹介した。
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
市内の団体や各町の活動等を番組やSNS等で紹介する。	市内の団体や各町の活動等を番組やSNS等で紹介する。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
市内の団体や各町の活動等を番組やSNS等で紹介する。	市内の団体や各町の活動等を番組やSNS等で紹介する。

指標名						単位	件
算式							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由	設定指標なし（「結婚支援事業」を「移住交流・結婚支援事業」に組み替えたため）						
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	組
算式							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由	設定指標なし（SNSによる情報発信における該当指標なし）						
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		4,003	8,370
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	2,648	6,000
一般財源	1,355	2,370	
人員数(人)	正規職員	0.7	0.7
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	4,977.7	4,977.7
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	4,977.7	4,977.7
市民一人当たりの経費	0.2	0.3	
総額	8,980.7	13,347.7	

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	1,320	地域情報チャンネル番組制作1,320
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	521	地域づくり団体活動支援補助金 521
その他	2,162	地域づくり団体等活動支援貸付金2,127、費用弁償35

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	400	謝礼400
10節 需用費	30	食糧費30
12節 委託費	1,320	地域情報チャンネル番組制作1,320
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,500	地域づくり団体活動活動支援補助金1,500
その他	5,120	費用弁償120、地域づくり団体等活動支援貸付金5,000

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	今後も市民との共創で地域づくりを進めていく。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	地域づくり団体の活動を支援するなど、地域課題解決に貢献している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	結婚支援については、国などの補助制度を活用している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

結婚支援事業における交流イベントは、新型コロナウイルス感染症の影響により計画どおり実施できなかった。コロナ禍でも実施できる方法を検討し、できるだけ出会いの場を提供していきたい。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
地域づくり団体の活動を支援し、地域課題解決に貢献。 。今後も市民との共創で地域づくりを進めていく。		総合計画で謳う「共創のまち」に向けて、地域住民自ら地域の課題を発見して解決していくが必要であり、それらを行う地域団体への支援は重要	

外部評価

次年度以降の方向性
外部評価コメント

令和 4年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	村石 孝子
全体計画	平成26年度	～	平成28年度	経費区分	実施計画事業費	内線	3522				
事務事業名	4227 蔵の町並みキャンパス運営助成事業										
所 属	200200 まちづくり推進部・まちづくり課										
施 策	06023400 特色を生かした地域振興の推進										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	080401 土木費・都市計画費・都市計画総務費									
	事業	040000 蔵の町並みキャンパス運営助成事業									
事業目的						事業概要・効果					
歴史と文化の遺産である蔵造り等の建物を活用し、キャンパスとして学生が研究・交流する中で、21世紀を担う知の創出と情報発信を行う。また、新たな研究・教育機能を持った都市づくりを産・学・官・民の協働により行う。						歴史と文化の集積である蔵造の建物等を学生の研究や授業の場として活用し、その成果を発信し、文化・産業遺産として次世代へ継承するとともに、産・学・官・民の協働による新たな研究機能をもったまちづくりを行う。 ヒア補足】 ●R2の参加はコロナの影響もあり、信大・県立大・清泉短大・名古屋大のみ。 ●少人数グループでの建物見学など実施。 ●R2は成果発表を未実施であるが、成果物の展示という形で実施した。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
4校5学部（学科） 300人（コロナ禍の影響による）	5校7学部（学科） 520人（コロナ禍の影響による）
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
7校9学部（学科）1000人	7校9学部（学科）1000人
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
7校9学部（学科）1000人	7校9学部（学科）1000人

指標名	蔵の町並みキャンパス年間延べ参加者数						
算式	年間延べ参加者数					単位	人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	420	1,000	1,000	1,000	1,000	
	実績	520					
指標選定の理由	須坂市の歴史的資産、資源を活用した蔵の町並みキャンパスにより、地域振興を図るため。						
最終年度目標の根拠	参加大学の学生数（過去の実績を基に算定）						
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決算	令和4年度 予算
事業費		358	900
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		358	900
人員数(人)	正規職員	0.4	0.4
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.1	0.0
人員コスト	正規職員	2,844.4	2,844.4
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	154.1	0.0
	計	2,998.5	2,844.4
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		3,356.5	3,744.4

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	358	蔵の町並みキャンパス事業負担金358
その他	0	

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	900	蔵の町並みキャンパス事業負担金900
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	学校が蔵の町並みを活用した調査研究に取り組むことで、歴史的な建造物の保存活用につながる可能性があり、産学官民が連携することで、交流や新たな研究機能を持ったまちづくりにつながる。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	コロナ禍により、活動が制限されていた。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	コロナ過の影響が収れば、多くの学校が参加することができ、交流や賑わいの創出、研究の場を増やすことができる。また、産官民の連携で研究の場を提供し、より多くの成果に反映させることができるように取り組んでいく。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

コロナ過の影響により、学校側の活動が制限され、できる範囲で工夫した取り組みを行った。研究調査などは人数やグループ分けなど行い、会議などはリモート参加なども活用して開催した。また、発表会なども全体で集まることは避け、学校ごとの発表を市のホームページで情報発信するなど工夫をした取り組みを行った。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

今年度もコロナ禍により、規模の縮小、成果発表会も中止となったが、リモート会議や分散での調査など工夫をして取組んだ学校もあった。引き続き各学校の特色がいかされるように支援をする。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

学生がキャンパスとして歴史と文化の遺産である蔵造り等の建物の残る街に入り研究・交流ことにより、地域の活性化やまちづくりつながる。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--